

〈 目 次 〉

I 意識づくり

市民一人一人の防犯意識を高めるため、広報啓発活動等の事業を実施する。				評価			
事業No.	事業名		P	A	B	C	担当課
1 広報啓発活動	I-1-①	自転車鍵かけ運動	2			○	環境課
	I-1-②	スーパーにおける街頭啓発活動	3		○		環境課
	I-1-③	「新潟県特殊詐欺・悪質商法被害防止の日」の実施	4		○		環境課
	I-1-④	広報、ホームページへの掲載	5-6		○		環境課、市民窓口課
2 情報発信	I-2-①	三条市メールの配信	7		○		環境課、市民窓口課、学校教育課
	I-2-②	事業者への情報提供、意識啓発	8			○	環境課
	I-2-③	防災無線を活用した犯罪被害防止緊急放送	9		○		環境課
3 教室・教育の充実	I-3-①	薬物乱用防止教室等の特別授業	10		○		学校教育課
	I-3-②	関係機関と連携した児童・生徒への指導	11		○		学校教育課
	I-3-③	高齢者教室と連携した防犯講話	12		○		環境課

【評価項目】
 A…成果目標以上の成果に達成したもの
 B…成果目標どおり
 C…成果目標に達成しなかったもの

II 地域づくり

犯罪の芽を摘む最も身近な監視役である地域の自主活動の促進等を図る。				評価			
事業No.	事業名		P	A	B	C	担当課
1 自主活動の促進	II-1-①	防犯パトロールグッズの斡旋	13		○		環境課
	II-1-②	防犯協会負担金	14-15		○		環境課
	II-1-③	防犯カメラの設置等に関する支援	16-17	○			環境課
2 防犯力の向上	II-2-①	登下校時の見守りパトロール	18		○		学校教育課
	II-2-②	子ども110番の家	19		○		学校教育課(環境課)
3 高齢者・子どもの安全確保	II-3-①	高齢者家庭訪問	20			○	環境課
	II-3-②	高齢者への情報提供	21		○		高齢介護課
	II-3-③	高齢者等見守り事業	22		○		高齢介護課
	II-3-④	不審者情報の共有化	23		○		環境課、子育て支援課、学校教育課

III 環境づくり

ハード、ソフトの両面から、犯罪が起こりにくいまちづくりのための環境整備を進め、安全確保を図る。				評価			
事業No.	事業名		P	A	B	C	担当課
1 学校・通学路・駅等における安全確保	III-1-①	青少年指導委員によるパトロール	24		○		子育て支援課(青少年育成センター)
	III-1-②	敷地内パトロール	25-30		○		子育て支援課(青少年育成センター)
	III-1-③	市職員による青色回転灯パトロール	31		○		環境課
	III-1-④	三条市通学路安全推進会議	32		○		学校教育課(環境課、建設課)
2 道路・公園等における安全確保	III-2-①	防犯灯、街灯の整備	33		○		建設課
	III-2-②	公園の整備	34		○		建設課
	III-2-③	自動車駐車場及び自転車駐車場の管理	35		○		環境課
	III-2-④	空家等の適正管理	36		○		環境課
3 住宅の防犯性向上と相談体制の整備	III-3-①	住宅等の防犯対策チラシの設置	37		○		環境課
	III-3-②	市民なんでも相談	38-39		○		市民窓口課
	III-3-③	相談体制の整備	40		○		市民窓口課

I 意識づくり

I 意識づくり

市民一人一人の防犯意識を高めるため、広報啓発活動等の事業を実施する。

1 広報啓発活動

事業No.	担当課	事業名	事業内容
I-1-①	環境課	自転車鍵かけ運動	6と9のつく日をロックの日として指定し、JR駅前等で呼びかけを行う。

① 令和4年度実施状況（上半期） (R4/4/1~R4/9/30)	② 令和4年度実施状況（下半期） (R4/10/1~R5/3/31)
6月9日に原信四日町店で三条警察署主催で自転車の鍵かけを目的としたチラシ配布を行った。	9月6日には実施できなかった。

③ これまでの取組、成果、課題等	④ 成果目標	
	令和4年度	令和5年度
・自転車盗難発生件数は、平成28年：114件、平成29年：76件、平成30年：59件、令和元年：44件、令和2年：58件、令和3年：52件、令和4年：76件となっており、令和3年までは減少傾向にあったが、令和4年に増加した。 ・自転車盗難のうち無施錠率は、平成28年：78.1%、平成29年：85.5%、平成30年：78.0%、令和元年：77.3%、令和2年：77.6%、令和3年：76.0%、令和4年：86.8%と、高い割合で推移している。	警察と連携して、ロックの日鍵かけ運動を行い、市民の防犯意識啓発を高めることで自転車窃盗件数の減少を目指す。 【ロックの日】2回	警察と連携して、ロックの日鍵かけ運動を行い、市民の防犯意識啓発を高めることで自転車窃盗件数の減少を目指す。 【ロックの日】2回

⑤ 予算・決算見込額			
令和3年度		令和4年度	
予算額（千円）	決算額（千円）	予算額（千円）	決算見込額（千円）
0	0	0	0
内訳	内訳	内訳	内訳

⑥ 総合評価 (成果、反省点)	⑦ 令和5年度取組方針 (取組方法・改善点等)				
三条警察署と連携して上半期の1回は啓発活動を実施できたが、下半期は新型コロナウイルス感染症の影響により予定日に実施できなかった。	自転車盗難が多く発生する駅自転車駐車場周辺や利用者の多い高校等における啓発活動をより重点的に行うなど引き続き三条警察署と連携した広報活動を行う。				
<table border="1"> <tr> <td>A：成果目標以上の成果に達したもの</td> <td>B：成果目標どおり</td> <td>○</td> <td>C：成果目標に達しなかったもの</td> </tr> </table>	A：成果目標以上の成果に達したもの	B：成果目標どおり	○	C：成果目標に達しなかったもの	
A：成果目標以上の成果に達したもの	B：成果目標どおり	○	C：成果目標に達しなかったもの		

I 意識づくり

市民一人一人の防犯意識を高めるため、広報啓発活動等の事業を実施する。

1 広報啓発活動

事業No.	担当課	事業名	事業内容
I-1-②	環境課	スーパー等における街頭啓発活動	スーパー等の街頭で特殊詐欺等の被害防止啓発活動を行う。

① 令和4年度実施状況（上半期） (R4/4/1~R4/9/30)	② 令和4年度実施状況（下半期） (R4/10/1~R5/3/31)
三条警察署が中心となり、銀行やスーパーで7回の広報・啓発活動を行った。	三条警察署が中心となり、銀行やスーパーで6回の広報・啓発活動を行った。そのうち、12月15日にただいまーとで実施した活動に市担当職員が参加した。

③ これまでの取組、成果、課題等	④ 成果目標	
	令和4年度	令和5年度
<ul style="list-style-type: none"> ・特殊詐欺被害は、平成28年：11件(1,860万円)、平成29年：14件(1,691万円)、平成30年：6件(2,300万円)、令和元年：13件(1,080万円)、令和2年：17件(4,636万円)、令和3年：9件(1,360万円)、令和4年：14件(1,957万円)となっており、依然として多くの被害が発生している。 ・被害の多くの割合を占めるのが高齢者であることから、高齢者が金融機関に出向く年金支給日や、スーパーマーケットなど高齢者が多く出かける機会を捉えて啓発活動を行っている。 ・三条警察署が毎偶数月15日の年金支給日に合わせて、金融機関前で特殊詐欺被害防止広報・啓発活動を実施している。 	特殊詐欺等被害防止広報・啓発活動を定期的、又は被害状況等に応じて臨機的に行うことで、効率良く市民の防犯意識啓発を図る。	特殊詐欺等被害防止広報・啓発活動を定期的、又は被害状況等に応じて臨機的に行うことで、効率良く市民の防犯意識啓発を図る。

⑤ 予算・決算見込額			
令和3年度		令和4年度	
予算額（千円）	決算額（千円）	予算額（千円）	決算見込額（千円）
0	0	0	0
内訳	内訳	内訳	内訳

⑥ 総合評価 (成果、反省点)			⑦ 令和5年度取組方針 (取組方法・改善点等)		
三条警察署や市内金融機関と連携を図り、広報・啓発活動を実施できたが、新型コロナウイルス感染予防対策のため、例年より規模を縮小した。			三条警察署や市内金融機関と連携を図った広報・啓発活動を今後も継続して行う。		
A：成果目標以上の成果に達したもの	○	B：成果目標どおり		C：成果目標に達しなかったもの	

I 意識づくり

市民一人一人の防犯意識を高めるため、広報啓発活動等の事業を実施する。

1 広報啓発活動

事業No.	担当課	事業名	事業内容
I-1-③	環境課	「新潟県特殊詐欺・悪質商法被害防止の日」の実施	年金支給日において、啓発活動や窓口来訪者に対する声かけ等を行い、被害防止に向けた注意喚起を図る。

① 令和4年度実施状況（上半期） (R4/4/1~R4/9/30)	② 令和4年度実施状況（下半期） (R4/10/1~R5/3/31)
<ul style="list-style-type: none"> 市に来庁された高齢者へ向けて窓口へ啓発チラシを設置し、注意喚起した。 市内金融機関、スーパー、コンビニ、公共施設等へ啓発チラシの設置を依頼し、設置箇所の拡大を図った。 セカンドライフ応援ステーションに登録している高齢者に対してチラシを配布した。（約1,200名） 三条警察署と合同で、コンビニエンスストアや金融機関での特殊詐欺被害防止に貢献された事業者や個人に対して、感謝状を贈呈した。（1件） 	<ul style="list-style-type: none"> 市に来庁された高齢者へ向けて窓口へ啓発チラシを設置し、注意喚起した。 燕三条FMで「特殊詐欺被害の防止」の放送を行った。 セカンドライフ応援ステーションに登録している高齢者に対してチラシを配布した。（約1,200名） 三条警察署と合同で、コンビニエンスストアや金融機関での特殊詐欺被害防止に貢献された事業者や個人に対して、感謝状を贈呈した。（7件）

③ これまでの取組、成果、課題等	④ 成果目標	
新潟県が平成29年9月に「新潟県特殊詐欺・悪質商法被害防止の日」を制定して以降、年金支給日において窓口来庁者や公共施設の利用者などに対して注意喚起を強化している。	令和4年度 特殊詐欺等の最新の手口を地道に伝えて注意喚起を図っていくことで、市民の防犯意識向上と被害の防止に努める。	令和5年度 特殊詐欺等の最新の手口を地道に伝えて注意喚起を図っていくことで、市民の防犯意識向上と被害の防止に努める。

⑤ 予算・決算見込額		令和3年度		令和4年度	
	予算額（千円）	決算額（千円）	予算額（千円）	決算見込額（千円）	
	0	0	0	0	0
内訳		内訳		内訳	内訳

⑥ 総合評価 (成果、反省点)	⑦ 令和5年度取組方針 (取組方法・改善点等)					
市内金融機関、スーパー、コンビニ、公共施設等へ協力依頼を行い、広く周知することができた。	引き続き市内金融機関、スーパー、コンビニ、公共施設等へ周知協力依頼を行い、特殊詐欺等被害防止の広報活動を広く行う。					
<table border="1"> <tr> <td>A：成果目標以上の成果に達したもの</td> <td>○</td> <td>B：成果目標どおり</td> <td></td> <td>C：成果目標に達しなかったもの</td> </tr> </table>	A：成果目標以上の成果に達したもの	○	B：成果目標どおり		C：成果目標に達しなかったもの	
A：成果目標以上の成果に達したもの	○	B：成果目標どおり		C：成果目標に達しなかったもの		

I 意識づくり

市民一人一人の防犯意識を高めるため、広報啓発活動等の事業を実施する。

1 広報啓発活動

事業No.	担当課	事業名	事業内容
I-1-④	環境課 市民窓口課	広報、ホームページへの掲載	広報さんじょうや市ホームページに防犯情報を掲載し、情報提供を行う。

① 令和4年度実施状況（上半期） (R4/4/1~R4/9/30)	② 令和4年度実施状況（下半期） (R4/10/1~R5/3/31)
<ul style="list-style-type: none"> ・特殊詐欺前兆事案、不審者事案、盗難事件注意等の防犯情報を市ホームページに掲載したほか、TwitterやLINEも活用して注意喚起した。(環境課) ・偶数月の広報さんじょうで「ストップ消費者被害」として相談事例やその対処法についての記事を掲載し、同内容を市ホームページにより周知した。(市民窓口課) ・燕三条FMに毎月1回「気をつけてこんな相談ありました」として特殊詐欺等の周知をした。(市民窓口課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・上半期と同様(環境課) ・上半期と同様(市民窓口課)

③ これまでの取組、成果、課題等	④ 成果目標	
	令和4年度	令和5年度
継続的な記事掲載により、広報さんじょうや市ホームページを見てトラブルになる前に市民なんでも相談室へ相談に来る市民が増えた。	市ホームページ、広報さんじょうを活用して様々な防犯情報等を周知することで、市民の防犯意識向上と犯罪被害防止に努める。	市ホームページ、広報さんじょうを活用して様々な防犯情報等を周知することで、市民の防犯意識向上と犯罪被害防止に努める。

⑤ 予算・決算見込額			
令和3年度		令和4年度	
予算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	決算見込額(千円)
0	0	0	0
内訳	内訳	内訳	内訳

⑥ 総合評価 (成果、反省点)		⑦ 令和5年度取組方針 (取組方法・改善点等)	
<ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページのみならず、Twitter及びLINEによる注意喚起することで、若年層向けにも周知することができた。(環境課) ・広報さんじょうや市ホームページの事例を見て、同様のトラブルに遭い相談に来た市民も多く、掲載の効果が現れている。(市民窓口課) 		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きホームページ掲載等により呼びかけを行うとともに、市民が多く集まる機会を捉えて広報活動を行っていく。(環境課) ・引き続き、相談の多い案件を中心に偶数月の広報さんじょうで「ストップ消費者被害」を掲載し、消費者被害の未然防止に努める。(市民窓口課) 	
A: 成果目標以上の成果に達したもの	○	B: 成果目標どおり	C: 成果目標に達しなかったもの

I 意識づくり

市民一人一人の防犯意識を高めるため、広報啓発活動等の事業を実施する。

2 情報発信

事業No.	担当課	事業名	事業内容
I-2-①	環境課 市民窓口課 学校教育課	三条市メールの配信	特殊詐欺情報、不審者情報、消費者トラブル情報等に関する注意喚起のメール配信を行う。

① 令和4年度実施状況（上半期） (R4/4/1~R4/9/30)	② 令和4年度実施状況（下半期） (R4/10/1~R5/3/31)
<ul style="list-style-type: none"> ・不審者事案、詐欺被害発生、盗難事件注意等の防犯情報をメール配信し、注意喚起した。(環境課) ・偶数月の広報さんじょうに掲載する「ストップ消費者被害」の記事の中で、メール配信サービスの登録を勧めた。(市民窓口課) ・学校や警察から寄せられる不審者情報については、市教委から市内全学校に情報を発信した。今後より速やかに情報提供を行う。(学校教育課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・不審者事案、詐欺被害発生等の防犯情報をメール配信し、注意喚起した。また、燕三条FMで「特殊詐欺被害の防止」として、メール配信サービスについて周知した。(環境課) ・消費者ホットライン188や消費生活講座の情報をメール配信し、相談窓口の周知と啓発を行った。あわせて、Twitter及びLINEにおいても連動して情報を配信した。(市民窓口課) ・学校や警察から寄せられる不審者情報については、市教委から市内全学校に情報を発信している。今後より速やかに情報提供を行う。(学校教育課)

③ これまでの取組、成果、課題等	④ 成果目標	
	令和4年度	令和5年度
メール登録件数は、「安心・安全情報メール」(環境課)平成29年度 7,830件、平成30年度:8,603件、令和元年度:9,169件、令和2年度:10,890人、令和3年度:12,474人、令和4年12,681人(令和5年2月1日時点)となっている。	不審者情報の配信を通じて児童生徒の安全を確保する。 また、犯罪、消費者被害対策として、速やかに確実な情報を収集し、市民に必要な情報を提供することで犯罪等被害防止を図る。	不審者情報の配信を通じて児童生徒の安全を確保する。 また、犯罪、消費者被害対策として、速やかに確実な情報を収集し、市民に必要な情報を提供することで犯罪等被害防止を図る。

⑤ 予算・決算見込額			
令和3年度		令和4年度	
予算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	決算見込額(千円)
0	0	0	0
内訳	内訳	内訳	内訳

⑥ 総合評価 (成果、反省点)	⑦ 令和5年度取組方針 (取組方法・改善点等)	
<ul style="list-style-type: none"> ・各種事案の発生状況等を踏まえ、速やかにメール配信を行うことができた。(環境課) ・消費生活相談窓口の紹介やトラブル事例を配信し、注意喚起した。あわせて、Twitter及びLINEにおいても連動して情報を配信した。(市民窓口課) ・学校や警察から寄せられる不審者情報については、市教委から市内全学校に情報を発信した。今後より速やかに情報提供を行う。(学校教育課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き事案の発生状況等を踏まえてメール配信を行うとともに、市民が多く集まる機会を捉えてメール登録に向けた広報活動を行っていく。(環境課) ・引き続き、積極的にメール配信登録を勧め、配信回数を増やすように努めたい。また、Twitter及びLINEも連動し、幅広く周知を行う。(市民窓口課) ・今年度同様、関係機関との連携を図り不審者情報を速やかに配信する。(学校教育課) 	
A: 成果目標以上の成果に達したもの	B: 成果目標どおり	C: 成果目標に達しなかったもの
○		

I 意識づくり

市民一人一人の防犯意識を高めるため、広報啓発活動等の事業を実施する。

2 情報発信

事業No.	担当課	事業名	事業内容
I-2-②	環境課	事業者への情報提供、意識啓発	事業者の防犯力を向上させるため、商工会議所などの事業者団体とも連携した中で意識啓発を行う。

① 令和4年度実施状況（上半期） (R4/4/1~R4/9/30)	② 令和4年度実施状況（下半期） (R4/10/1~R5/3/31)
なし	例年2月に開催される新潟県主催の事業所防犯講習会の案内を市ホームページで周知するとともに、商工会議所や商工会へメールマガジンまたは、ホームページ掲載により市内各事業者へ周知いただくよう依頼する予定としていたが、同講習会の開催がなかった。

③ これまでの取組、成果、課題等	④ 成果目標	
	令和4年度	令和5年度
令和元年度までは、新潟県主催の事業所防犯講習会の周知を行った。	事業所の犯罪被害防止のため、商工会議所などを通して防犯情報を適宜速やかに提供する。	今後、事業所の犯罪被害者等支援への理解のため、商工会議所などを通して犯罪被害者等支援に関する情報を適宜提供する。

⑤ 予算・決算見込額			
令和3年度		令和4年度	
予算額（千円）	決算額（千円）	予算額（千円）	決算見込額（千円）
0	0	0	0
内訳	内訳	内訳	内訳

⑥ 総合評価 (成果、反省点)				⑦ 令和5年度取組方針 (取組方法・改善点等)			
新潟県主催の事業所防犯講習会の開催有無にかかわらず、三条商工会議所など事業者団体と連携した中で、市内事業所へ広く情報提供を行う方法を検討する必要がある。あわせて、事業所が防犯力を高めるための情報提供をできるよう各種情報収集に努める。				市内事業所へ広く情報提供を行う方法を検討した上で、引き続き機会を捉えて事業所に情報提供を行うとともに、事業所向けの防犯情報の収集に努める。			
A: 成果目標以上の成果に達したもの		B: 成果目標どおり	○	C: 成果目標に達しなかったもの			

I 意識づくり

市民一人一人の防犯意識を高めるため、広報啓発活動等の事業を実施する。

2 情報発信

事業No.	担当課	事業名	事業内容
I-2-③	環境課	防災無線を活用した犯罪被害防止緊急放送	特殊詐欺等の被害が発生するなど、緊急性を有する場合に防災無線を活用した注意喚起を行う。

① 令和4年度実施状況（上半期） (R4/4/1~R4/9/30)	② 令和4年度実施状況（下半期） (R4/10/1~R5/3/31)
振り込め詐欺の前兆電話が多発したため、機会を捉えて放送を行った（一回）。	放送実績なし

③ これまでの取組、成果、課題等 三条警察署からの依頼を受け、被害状況や前兆事案の発生頻度を考慮した上で、放送を実施するかどうか市が判断する。	④ 成果目標	
	令和4年度	令和5年度
	特殊詐欺等の犯罪発生状況に応じて犯罪被害防止緊急放送により市民への注意喚起を行い、犯罪被害の拡大を防ぐ。	特殊詐欺等の犯罪発生状況に応じて犯罪被害防止緊急放送を行うことで注意喚起を行い、犯罪被害の拡大を防ぐ。

⑤ 予算・決算見込額			
令和3年度		令和4年度	
予算額（千円）	決算額（千円）	予算額（千円）	決算見込額（千円）
0	0	0	0
内訳	内訳	内訳	内訳

⑥ 総合評価 (成果、反省点)	⑦ 令和5年度取組方針 (取組方法・改善点等)				
5月に特殊詐欺前兆事案が連日複数回発生したため、三条警察署からの依頼により、市の防災無線による緊急放送を行い、市内全域に注意を呼び掛けた。	特殊詐欺等の犯罪発生状況に応じて、緊急放送について迅速な判断を行うことができるように、日頃から三条警察署と連携を図る。				
<table border="1"> <tr> <td>A: 成果目標以上の成果に達したもの</td> <td>○</td> <td>B: 成果目標どおり</td> <td>C: 成果目標に達しなかったもの</td> </tr> </table>	A: 成果目標以上の成果に達したもの	○	B: 成果目標どおり	C: 成果目標に達しなかったもの	
A: 成果目標以上の成果に達したもの	○	B: 成果目標どおり	C: 成果目標に達しなかったもの		

I 意識づくり

市民一人一人の防犯意識を高めるため、広報啓発活動等の事業を実施する。

3 教室・教育の充実

事業No.	担当課	事業名	事業内容
I-3-①	学校教育課	薬物乱用防止教室等の特別授業	警察や保健所等の職員による薬物乱用防止等の特別授業を実施する。

① 令和4年度実施状況（上半期） (R4/4/1～R4/9/30)	② 令和4年度実施状況（下半期） (R4/10/1～R5/3/31)
中学校・義務教育学校後期課程はすべての学校で年1回の薬物乱用防止教室を開催している。小学校・義務教育学校前期課程は体育の保健領域または学級活動の時間に学習している。2～3学期に行われる場合が多い。	【令和4年度 中9/9校、小11/20校の実施】 【令和2年度 中5/9校、小4/20校の実施】 【令和3年度 中9/9校、小7/20校の実施】 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により実施を見送った学校が多かった。 ※義務教育学校前期課程は小学校に " 後期課程は中学校に含み集計

③ これまでの取組、成果、課題等	④ 成果目標	
	令和4年度	令和5年度
中学校・義務教育学校後期課程では年1回以上の実施が義務付けられており、小学校・義務教育学校前期課程では保健領域の時間等に行うことが努力事項となっている。	全中学校・義務教育学校後期課程で実施する。 小学校・義務教育学校前期課程での実施率向上を目指す。	全中学校・義務教育学校後期課程で実施する。 小学校・義務教育学校前期課程での実施率向上を目指す。

⑤ 予算・決算見込額			
令和3年度		令和4年度	
予算額（千円）	決算額（千円）	予算額（千円）	決算見込額（千円）
0	0	0	0
内訳	内訳	内訳	内訳

⑥ 総合評価 (成果、反省点)		⑦ 令和5年度取組方針 (取組方法・改善点等)	
新型コロナウイルス感染症の影響により、本年度も実施を見送った学校があった。		学校の保健指導計画と関連させ、今後も薬物乱用防止教室の継続的な実施及び啓発活動を推進していく。	
A: 成果目標以上の成果に達したもの	○	B: 成果目標どおり	C: 成果目標に達しなかったもの

I 意識づくり

市民一人一人の防犯意識を高めるため、広報啓発活動等の事業を実施する。

3 教室・教育の充実

事業No.	担当課	事業名	事業内容
I-3-②	学校教育課	関係機関と連携した児童・生徒への指導	関係機関と連携して、いじめや不登校、問題行動等に関する指導を行う。

① 令和4年度実施状況（上半期） (R4/4/1~R4/9/30)	② 令和4年度実施状況（下半期） (R4/10/1~R5/3/31)
三条市生徒指導研修会（5月2日実施） 三条市学校警察等連絡協議会（中止） 子ども・若者総合サポートシステム問題行動対応部 会実務者会議（9月5日実施） ネットトラブル防止教室（各学校で実施）	子ども・若者総合サポートシステム問題行動対応部 会実務者会議（2月実施予定） ネットトラブル防止教室（各学校で実施）

③ これまでの取組、成果、課題等	④ 成果目標	
	令和4年度	令和5年度
いじめや不登校、問題行動等への対応力を高めるため、各学校の生徒指導担当者の研修や情報交換の場を設けることができた。	三条市生徒指導研修会 1回実施 三条市学校警察等連絡協議会 1回実施 子ども若者・総合サポートシステム問題行動対応部会 2回実施	三条市生徒指導研修会 1回実施 三条市学校警察等連絡協議会 1回実施 子ども若者・総合サポートシステム問題行動対応部会 2回実施

⑤ 予算・決算見込額			
令和3年度		令和4年度	
予算額（千円）	決算額（千円）	予算額（千円）	決算見込額（千円）
240	95	220	48
内訳 生徒指導研修会講師謝礼 40,000円 ネットいじめ講師派遣 200,000円	内訳 生徒指導研修会講師謝礼 35,000円 ネットいじめ講師派遣 60,000円（5か校）	内訳 生徒指導研修会講師謝礼 20,000円 ネットいじめ講師派遣 200,000円	内訳 生徒指導研修会講師謝礼 0円 ネットいじめ講師派遣 48,000円（4か校）

⑥ 総合評価 (成果、反省点)	⑦ 令和5年度取組方針 (取組方法・改善点等)				
今年度は、生徒指導研修会において、中越教育事務所指導主事からいじめ発生時の初期対応について御指導いただくことができた。 SNSやゲーム依存などに係わる事案が多いため、今後も継続してネットトラブル防止教室を各学校で実施していく。	ネットトラブル防止教室の継続的な実施を推進する。また、生徒指導研修会では、研修を通して各学校の生徒指導担当者の生徒指導力を向上させ、いじめ等の生徒指導諸問題の未然防止や早期発見、即時対応をできるようにしていく。				
<table border="1"> <tr> <td>A: 成果目標以上の成果に達したもの</td> <td>○</td> <td>B: 成果目標どおり</td> <td>C: 成果目標に達しなかったもの</td> </tr> </table>	A: 成果目標以上の成果に達したもの	○	B: 成果目標どおり	C: 成果目標に達しなかったもの	
A: 成果目標以上の成果に達したもの	○	B: 成果目標どおり	C: 成果目標に達しなかったもの		

I 意識づくり

市民一人一人の防犯意識を高めるため、広報啓発活動等の事業を実施する。

3 教室・教育の充実

事業No.	担当課	事業名	事業内容
I-3-③	環境課	高齢者教室と連携した防犯講話	高齢者教室とタイアップして、特殊詐欺等被害防止に関する講話を行う。

① 令和4年度実施状況（上半期） (R4/4/1~R4/9/30)	② 令和4年度実施状況（下半期） (R4/10/1~R5/3/31)
6月に中央公民館で行われている「ふるさと映画村」（申込不要・入場無料の上映会）において、「巧妙化する詐欺手口に備える～だまされないための五箇条～」を上映するとともに、特殊詐欺被害防止啓発チラシを配布した。（生涯学習課、市民窓口課）	2月に高齢者が多く参画する団体の集会に出向き、特殊詐欺被害防止に関する講話を行った。（環境課）

③ これまでの取組、成果、課題等	④ 成果目標	
	令和4年度	令和5年度
高齢介護課など関係課からも高齢者の集まる機会について情報を提供してもらい、注意喚起した。	高齢者が集まる機会を捉えて特殊詐欺等被害防止の講話を行い、高齢者の防犯意識向上を図る。	高齢者が集まる機会を捉えて特殊詐欺等被害防止の講話を行い、高齢者の防犯意識向上を図る。

⑤ 予算・決算見込額			
令和3年度		令和4年度	
予算額（千円）	決算額（千円）	予算額（千円）	決算見込額（千円）
0	0	0	0
内訳	内訳	内訳	内訳

⑥ 総合評価 (成果、反省点)		⑦ 令和5年度取組方針 (取組方法・改善点等)	
講話だけでなく、今後は、三条警察署と連携し、特殊詐欺被害防止にかかる啓発用品の配布などより効果的な対策の実施も検討していく必要がある。		特殊詐欺被害防止にかかる啓発用品の配布や最新の犯罪手口等についての情報も紹介するなど、引き続き三条警察署と連携を図りながら、効果的な取組を行う。	
A: 成果目標以上の成果に達したもの	○	B: 成果目標どおり	C: 成果目標に達しなかったもの

Ⅱ 地域づくり

II 地域づくり

犯罪の芽を摘む最も身近な監視役である地域の自主活動の促進等を図る。

1 自主活動の促進

事業No.	担当課	事業名	事業内容
II-1-①	環境課	防犯パトロールグッズの斡旋	地域の主体的な活動を支援するため、防犯パトロール用品の購入費用の補助を行う。

① 令和4年度実施状況（上半期） （R4/4/1～R4/9/30）	② 令和4年度実施状況（下半期） （R4/10/1～R5/3/31）
なし	防犯協会と連携を図り、パトロールグッズ（パトロール用蛍光ベスト、誘導棒）の購入補助について自治会へ案内し、5自治会から要望があった。

③ これまでの取組、成果、課題等	④ 成果目標	
	令和4年度	令和5年度
<ul style="list-style-type: none"> ・パトロールの際の必需品であるパトロール用のベストと誘導棒を希望自治会に斡旋している。 ・毎年数件の申込みがあり、地域の防犯活動に役立っている。 【R4販売実績、申込件数：5自治会、ベスト：41枚、停止合図灯：41本】	支援を継続的に行っていくことで、地域の主体的な防犯活動を後押しする。	支援を継続的に行っていくことで、地域の主体的な防犯活動を後押しする。

⑤ 予算・決算見込額			
令和3年度		令和4年度	
予算額（千円）	決算額（千円）	予算額（千円）	決算見込額（千円）
0	0	0	0
内訳	内訳	内訳	内訳

⑥ 総合評価 （成果、反省点）	⑦ 令和5年度取組方針 （取組方法・改善点等）					
例年2～3月頃に、希望自治会、防犯関係団体へパトロールグッズを斡旋している。	今年度同様、防犯協会と連携を図って防犯パトロールグッズの斡旋を行うとともに、地域の主体的な防犯活動を推進していく。					
<table border="1"> <tr> <td>A：成果目標以上の成果に達したもの</td> <td>○</td> <td>B：成果目標どおり</td> <td></td> <td>C：成果目標に達しなかったもの</td> </tr> </table>	A：成果目標以上の成果に達したもの	○	B：成果目標どおり		C：成果目標に達しなかったもの	
A：成果目標以上の成果に達したもの	○	B：成果目標どおり		C：成果目標に達しなかったもの		

II 地域づくり

犯罪の芽を摘む最も身近な監視役である地域の自主活動の促進等を図る。

1 自主活動の促進

事業No.	担当課	事業名	事業内容
II-1-②	環境課	防犯協会負担金	三条市防犯協会への財政支援を行う。

① 令和4年度実施状況（上半期） （R4/4/1～R4/9/30）	② 令和4年度実施状況（下半期） （R4/10/1～R5/3/31）
令和4年4月1日現在の三条市人口 94,146人×10円＝941,460円 の負担金を支出	上半期の取組を継続

③ これまでの取組、成果、課題等 三条市人口（4月1日時点）×10円を防犯協会運営 の負担金として支出している。	④ 成果目標	
	令和4年度	令和5年度
	防犯協会の事業に対して財政支援を行うことにより、市民生活の防犯意識の底上げに貢献する。	防犯協会の事業に対して財政支援を行うことにより、市民生活の防犯意識の底上げに貢献する。
	学校、地域、金融機関等あらゆる市民層の防犯意識の底上げ	学校、地域、金融機関等あらゆる市民層の防犯意識の底上げ

⑤ 予算・決算見込額			
令和3年度		令和4年度	
予算額（千円）	決算額（千円）	予算額（千円）	決算見込額（千円）
984	979	944	942
内訳 三条市4月1日人口 98,400人×10円＝ 984,000円	内訳 三条市4月1日人口 97,813人×10円＝ 978,130円	内訳 三条市4月1日人口（見 込み） 94,400人×10円＝ 944,000円	内訳 三条市4月1日人口 94,146人×10円＝ 941,460円

⑥ 総合評価 （成果、反省点）	⑦ 令和5年度取組方針 （取組方法・改善点等）					
防犯協会の各種活動を通して、市民の防犯意識向上を図った。	今年度同様、人口に応じた負担金を支出する。					
<table border="1"> <tr> <td>A：成果目標以上の成果に達したもの</td> <td>○</td> <td>B：成果目標どおり</td> <td></td> <td>C：成果目標に達しなかったもの</td> </tr> </table>	A：成果目標以上の成果に達したもの	○	B：成果目標どおり		C：成果目標に達しなかったもの	
A：成果目標以上の成果に達したもの	○	B：成果目標どおり		C：成果目標に達しなかったもの		

II 地域づくり

犯罪の芽を摘む最も身近な監視役である地域の自主活動の促進等を図る。

1 自主活動の促進

事業No.	担当課	事業名	事業内容
II-1-③	環境課	防犯カメラの設置等に関する支援	防犯カメラの設置、運用を希望する商店街、自治会等の相談を受けるとともに、活用できる補助事業等の情報提供を行う。

① 令和4年度実施状況（上半期） (R4/4/1～R4/9/30)	② 令和4年度実施状況（下半期） (R4/10/1～R5/3/31)
三条市防犯協会が実施している防犯カメラ設置費補助事業について、自治会や防犯関係団体に情報提供した。	【参考】小学校・義務教育学校の通学路等に防犯カメラを計57台設置した。

③ これまでの取組、成果、課題等	④ 成果目標	
	令和4年度	令和5年度
防犯協会事業として、平成29年度から自治会等が設置する防犯カメラの購入費補助事業を行っている。 【参考】令和4年度から小学校・義務教育学校の通学路等に防犯カメラを設置している。	防犯カメラ設置希望の自治会等に対して適切なアドバイスを行い、設置、運用のサポートを行う。	・防犯カメラ設置希望の自治会等に対して適切なアドバイスを行い、設置、運用のサポートを行う。 ・通学路への防犯カメラの設置を進める。

⑤ 予算・決算見込額			
令和3年度		令和4年度	
予算額（千円）	決算額（千円）	予算額（千円）	決算見込額（千円）
0	0	15,303	15,088
内訳	内訳	内訳 防犯カメラ設置業務委託 15,125,000円 その他電柱共架使用料、 電気使用料等	内訳 防犯カメラ設置業務委託 14,910,060円 その他電柱共架使用料、 電気使用料等

⑥ 総合評価 (成果、反省点)		⑦ 令和5年度取組方針 (取組方法・改善点等)	
地域からの防犯カメラ設置に関する相談に応じた。相談があった際は地域に役立つ情報提供ができるよう、情報収集に努める。 【参考】小学校・義務教育学校の通学路等に防犯カメラを設置した。		自治会等からの相談に適切に応じられるように、防犯カメラに関する情報収集に努めるとともに、子どもたちの安全安心を確保するため、令和4年度に引き続き、小学校・義務教育学校の通学路等に防犯カメラを設置する。	
○	A：成果目標以上の成果に達したもの		B：成果目標どおり C：成果目標に達しなかったもの

II 地域づくり

犯罪の芽を摘む最も身近な監視役である地域の自主活動の促進等を図る。

2 防犯力の向上

事業No.	担当課	事業名	事業内容
II-2-①	学校教育課	登下校時の見守りパトロール	地域が主体となり、学校等とも連携した中で、登下校時の見守りパトロールを行う。

① 令和4年度実施状況（上半期） (R4/4/1～R4/9/30)	② 令和4年度実施状況（下半期） (R4/10/1～R5/3/31)
PTAや自治会など、保護者や地域の協力を得ながら全学校で見守りパトロールを実施した。 クマの出没が確認された地域の学校では、教職員や学校教育課による見守りパトロールを実施した。	PTAや自治会など、保護者や地域の協力を得ながら全学校で見守りパトロールを実施した。

③ これまでの取組、成果、課題等	④ 成果目標	
	令和4年度	令和5年度
PTAや自治会など、保護者、地域に協力を得ながら全小学校で見守りパトロールを実施できている。 年1回、各学校から「見守り活動概要報告書」を提出してもらい、登下校時の見守り活動実施団体の実態把握をしている。	児童生徒が安全に登下校できるように、PTAや自治会と協力しながら見守り体制の充実を図る。	児童生徒が安全に登下校できるように、PTAや自治会と協力しながら見守り体制の充実を図る。

⑤ 予算・決算見込額			
令和3年度		令和4年度	
予算額（千円）	決算額（千円）	予算額（千円）	決算見込額（千円）
0	0	0	0
内訳	内訳	内訳	内訳

⑥ 総合評価 (成果、反省点)		⑦ 令和5年度取組方針 (取組方法・改善点等)	
大きな事故が発生しなかったことは、日頃から行っている見守りパトロールの成果と考える。今後もPTAや自治会と協力しながら児童生徒の見守り活動を行っていく。		児童生徒が安全に登下校できるように、PTAや自治会と協力しながら見守り体制の充実を図る。	
A：成果目標以上の成果に達したもの	○	B：成果目標どおり	C：成果目標に達しなかったもの

II 地域づくり

犯罪の芽を摘む最も身近な監視役である地域の自主活動の促進等を図る。

2 防犯力の向上

事業No.	担当課	事業名	事業内容
II-2-②	学校教育課 (環境課)	子ども110番の家	犯罪から子どもを守るため、事業者、民家を子ども110番の家として指定する。

① 令和4年度実施状況（上半期） (R4/4/1～R4/9/30)	② 令和4年度実施状況（下半期） (R4/10/1～R5/3/31)
各学校で子ども110番の家の確認を改めて行い、周知を図った。 ・三条地区 605軒 ・栄地区 50軒 ・下田地区 127軒 (令和3年度末時点)	各学校で子ども110番の家を周知した。

③ これまでの取組、成果、課題等	④ 成果目標	
各学校または各学園で作成、配布している「安全マップ」に子ども110番の家を掲載し、児童生徒・保護者への周知を図っている。数校から子ども110番の家として新規に取り組んでくださる方の情報が寄せられた。	令和4年度	令和5年度
	子ども110番の家の現状把握に努め、周知を図る。	子ども110番の家の現状把握に努め、周知を図る。

⑤ 予算・決算見込額			
令和3年度		令和4年度	
予算額（千円）	決算額（千円）	予算額（千円）	決算見込額（千円）
0	0	0	0
内訳	内訳	内訳	内訳

⑥ 総合評価 (成果、反省点)				⑦ 令和5年度取組方針 (取組方法・改善点等)			
各学校で子ども110番の家について、児童生徒・保護者へ周知を行った。				各学校または各学園の「安全マップ」の中に子ども110番の家を表記するなど、引き続き、児童生徒・保護者に周知を行っていく。また、学校・学園運営協議会等で子ども110番の家の新規登録を呼びかけていく。			
A：成果目標以上の成果に達したもの	○	B：成果目標どおり		C：成果目標に達しなかったもの			

II 地域づくり

犯罪の芽を摘む最も身近な監視役である地域の自主活動の促進等を図る。

3 高齢者・子どもの安全確保

事業No.	担当課	事業名	事業内容
II-3-①	環境課	高齢者家庭訪問	高齢者家庭訪問を行い、特殊詐欺等の被害防止を呼びかける。

① 令和4年度実施状況（上半期） （R4/4/1～R4/9/30）	② 令和4年度実施状況（下半期） （R4/10/1～R5/3/31）
新型コロナウイルスの感染防止対策として家庭訪問は行わなかった。 訪問に代え、5月に、セカンドライフ応援ステーション登録者（1,200名）に特殊詐欺被害防止チラシを配布した。	上半期と同様 訪問に代え、11月、2月に、セカンドライフ応援ステーション登録者（1,200名）に特殊詐欺被害防止チラシを配布した。

③ これまでの取組、成果、課題等	④ 成果目標	
	令和4年度	令和5年度
<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度までは毎年春に三条警察署と合同で家庭訪問を実施していた。 交通安全運動期間における家庭訪問は、年に4回様々な地区で実施するため、特殊詐欺被害防止啓発の機会としても有効活用している。 	市内各地域において従来の取組を継続することで高齢者との信頼関係を築き、特殊詐欺被害防止へと繋げる。	市内各地域において従来の取組を継続することで高齢者との信頼関係を築き、特殊詐欺被害防止へと繋げる。
	目標値：特殊詐欺被害 前年比減少	目標値：特殊詐欺被害 前年比減少

⑤ 予算・決算見込額			
令和3年度		令和4年度	
予算額（千円）	決算額（千円）	予算額（千円）	決算見込額（千円）
0	0	0	0
内訳	内訳	内訳	内訳

⑥ 総合評価 （成果、反省点）	⑦ 令和5年度取組方針 （取組方法・改善点等）				
新型コロナウイルス感染防止のため、家庭訪問による啓発活動は行わなかったが、セカンドライフ応援ステーション登録者向けにチラシ送付による注意喚起を行った。	家庭訪問だけに限らず、様々な手段により高齢者に対して特殊詐欺被害防止の呼びかけを継続的に行う。				
<table border="1"> <tr> <td>A：成果目標以上の成果に達したもの</td> <td>B：成果目標どおり</td> <td>○</td> <td>C：成果目標に達しなかったもの</td> </tr> </table>	A：成果目標以上の成果に達したもの	B：成果目標どおり	○	C：成果目標に達しなかったもの	
A：成果目標以上の成果に達したもの	B：成果目標どおり	○	C：成果目標に達しなかったもの		

II 地域づくり

犯罪の芽を摘む最も身近な監視役である地域の自主活動の促進等を図る。

3 高齢者・子どもの安全確保

事業No.	担当課	事業名	事業内容
II-3-②	高齢介護課	高齢者への情報提供	高齢者の相談窓口である地域包括支援センターなどにおいて、防犯チラシを配布するなど、高齢者の防犯意識の啓発を図る。

① 令和4年度実施状況（上半期） (R4/4/1～R4/9/30)	② 令和4年度実施状況（下半期） (R4/10/1～R5/3/31)
地域包括支援センターが、高齢者が集まる場等で消費者被害に関する講座（実績1回）を行うとともに、他の講座の際に啓発資料を配布した（実績7回）。また、高齢者からの消費者被害に関する相談に応じた。 また、高齢者の詐欺被害等を防止するため、介護保険サービス事業所に防犯メールの情報提供を行った。	地域包括支援センターが、高齢者が集まる場等で消費者被害に関する講座（実績見込3回）を行うとともに、他の講座の際に啓発資料を配布した（実績見込3回）。また、高齢者からの消費者被害に関する相談に応じた。 また、高齢者の詐欺被害等を防止するため、介護保険サービス事業所に防犯メールの情報提供を行った。

③ これまでの取組、成果、課題等	④ 成果目標	
	令和4年度	令和5年度
地域包括支援センターは、高齢者が集まる場や民生委員、ケアマネジャーに対し、高齢者の防犯意識の啓発に取り組んでおり、消費者被害に関する相談にも応じている。	消費者被害に関する市民の意識・知見の向上と消費者被害の未然防止	消費者被害に関する市民の意識・知見の向上と消費者被害の未然防止

⑤ 予算・決算見込額			
令和3年度		令和4年度	
予算額（千円）	決算額（千円）	予算額（千円）	決算見込額（千円）
133,554	133,554	133,784	133,784
内訳 地域包括支援センター業務委託料	内訳 地域包括支援センター業務委託料	内訳 地域包括支援センター業務委託料	内訳 地域包括支援センター業務委託料

⑥ 総合評価 (成果、反省点)	⑦ 令和5年度取組方針 (取組方法・改善点等)					
地域包括支援センターが実施した取組として、事業内容に示すチラシの配布という形式ではないものの、消費者被害に関する講座の実施、特殊詐欺前兆事案発生の情報提供、消費者被害の相談対応など様々な取組を行い、高齢者の防犯意識の向上を図ることができた。	引き続き、機会を捉えて高齢者が集う場等で消費者被害等に関する啓発講座や注意喚起を行い、高齢者の防犯意識の啓発を図っていく。 また、高齢者の相談窓口である地域包括支援センターでの相談対応を通して、虐待や権利擁護など高齢者の身近で起こりやすい犯罪をできる限り未然に防ぐよう努める。					
<table border="1"> <tr> <td>A: 成果目標以上の成果に達したもの</td> <td>○</td> <td>B: 成果目標どおり</td> <td></td> <td>C: 成果目標に達しなかったもの</td> </tr> </table>	A: 成果目標以上の成果に達したもの	○	B: 成果目標どおり		C: 成果目標に達しなかったもの	
A: 成果目標以上の成果に達したもの	○	B: 成果目標どおり		C: 成果目標に達しなかったもの		

II 地域づくり

犯罪の芽を摘む最も身近な監視役である地域の自主活動の促進等を図る。

3 高齢者・子どもの安全確保

事業No.	担当課	事業名	事業内容
II-3-③	高齢介護課	高齢者等見守り事業	地域住民などが声かけ訪問員となって、声かけや巡回を行う。

① 令和4年度実施状況（上半期） (R4/4/1~R4/9/30)	② 令和4年度実施状況（下半期） (R4/10/1~R5/3/31)
<p>高齢者等見守り事業において、地域住民主体の見守り活動を行った。</p> <p>【利用登録者数（9月末現在）】117名 うち簡易的な生活支援実施数 1名</p> <p>【訪問員数（9月末現在）】68名 【上半期見守り実施回数（4~9月実績）】 2,095回</p> <p>（事業開始時利用登録者数94名、訪問員数41名） 見守りと併せた簡易的な生活支援について、1件利用につながった。</p>	<p>高齢者等見守り事業において、地域住民主体の見守り活動を行う。</p> <p>【利用登録者数（3月末見込み）】122名 うち簡易的な生活支援実施者数 12名</p> <p>【訪問員数（3月末見込み）】80名 【下半期見守り実施回数（10~3月見込み）】 2,155回</p> <p>見守りと併せた簡易的な生活支援について、メニューを再検討しケアマネジャーに周知したところ、利用が増加した。</p>

③ これまでの取組、成果、課題等	④ 成果目標	
	令和4年度	令和5年度
<p>社会福祉協議会が実施してきた事業を見直し、令和2年度から市が実施主体となり「三条市高齢者等見守り事業」を開始した。</p> <p>地域の支え合いを支援する生活支援コーディネーターと連携し、地域の集いの場等で本事業の啓発を行い、少しずつ利用者が増加しているものの、地域住民の認知度が高いとは言えず、一層の周知を行っていく必要がある。</p>	<p>地域住民による支え合い体制の構築、住み慣れた地域で暮らし続けることができる環境の形成</p>	<p>地域住民による支え合い体制の構築、住み慣れた地域で暮らし続けることができる環境の形成</p>

⑤ 予算・決算見込額			
令和3年度		令和4年度	
予算額（千円）	決算額（千円）	予算額（千円）	決算見込額（千円）
0	24	0	0
内訳	内訳 高齢者等見守り事業シール	内訳	内訳

⑥ 総合評価 (成果、反省点)	⑦ 令和5年度取組方針 (取組方法・改善点等)		
<p>簡易的な生活支援のメニューを見直し、ケアマネジャー等支援者に改めて本事業を周知した結果、新規申請者が増加した。しかし、同時に身体状態の変化等で利用を中止する方も多く、利用人数は前年度と比べ10人の増加に留まっている。（令和4年9月末現在117人）。</p> <p>少しずつ簡易的な生活支援の利用者が増えていることから、本事業の周知が進んでいる様子が見られるが、地域住民における認知度は高くないのが実情であり、支え合いの体制は十分とは言えず、住み慣れた地域で暮らし続けることができる環境が形成されてきているとは言い難い。</p>	<p>引き続き「高齢者等見守り事業」の周知に努める。</p> <p>具体的には、支え合いの体制づくりを支援する生活支援コーディネーターと連携し、集いの場へ出向いての啓発やケアマネジャー等支援者に対する周知を行い、日常における見守り体制の整備を進めていく。</p> <p>ケアマネジャーの他、ヘルパーにも事業を周知し、新たな見守り対象者を見出していく。これらにより、1人暮らし高齢者等が安心して暮らすことができる地域づくりを少しずつ実現していく。</p>		
<p>A：成果目標以上の成果に達したもの</p> <p>○</p>	<p>B：成果目標どおり</p>	<p>C：成果目標に達しなかったもの</p>	

II 地域づくり

犯罪の芽を摘む最も身近な監視役である地域の自主活動の促進等を図る。

3 高齢者・子どもの安全確保

事業No.	担当課	事業名	事業内容
II-3-④	環境課 子育て支援課 学校教育課	不審者情報の共有化	不審者情報等について、関係機関と情報を共有し、必要に応じメール配信などの対応を行う。

① 令和4年度実施状況（上半期） （R4/4/1～R4/9/30）	② 令和4年度実施状況（下半期） （R4/10/1～R5/3/31）
<ul style="list-style-type: none"> 関係課、警察署等と連携して情報を得た不審者情報について、メール配信、ホームページ掲載及びTwitterにより周知した（4件）。（環境課） 不審者情報のメール配信6件（学校教育課） 	<ul style="list-style-type: none"> 関係課、警察署等と連携して情報を得た不審者情報について、メール配信、ホームページ掲載及びTwitterにより周知した（4件）。（環境課） 不審者情報のメール配信4件（学校教育課）

③ これまでの取組、成果、課題等	④ 成果目標	
	令和4年度	令和5年度
不審者事案が発生した際、三条警察署と連携を図り、各学校からのメール配信を通じて保護者等への迅速な情報提供に努めている。	三条警察署等の関係機関と連携を図り、児童生徒に危険がある事案については各学校からのメール配信を通じて迅速に保護者等へ周知、注意喚起を行い、犯罪被害の防止を徹底する。	三条警察署等の関係機関と連携を図り、児童生徒に危険がある事案については各学校からのメール配信を通じて迅速に保護者等へ周知、注意喚起を行い、犯罪被害の防止を徹底する。

⑤ 予算・決算見込額			
令和3年度		令和4年度	
予算額（千円）	決算額（千円）	予算額（千円）	決算見込額（千円）
0	0	0	0
内訳	内訳	内訳	内訳

⑥ 総合評価 （成果、反省点）		⑦ 令和5年度取組方針 （取組方法・改善点等）	
<p>迅速なメール配信等により情報共有を行うことができた。</p> <p>また、Twitterの配信により、若年層向けにも情報発信を行うことができた。</p>		<p>三条警察署等の関係機関と連携を図り、児童生徒に危険がある事案については各学校からのメール配信を通じて迅速に保護者等へ周知、注意喚起を行い、犯罪被害の防止を徹底していく。</p>	
A：成果目標以上の成果に達したもの	○	B：成果目標どおり	C：成果目標に達しなかったもの

Ⅲ 環境づくり

Ⅲ 環境づくり

ハード、ソフトの両面から、犯罪が起こりにくいまちづくりのための環境整備を進め、安全確保を図る。

1 学校・通学路・駅等における安全確保

事業No.	担当課	事業名	事業内容
Ⅲ-1-①	子育て支援課 (青少年育成センター)	青少年指導委員によるパトロール	児童、生徒の非行防止のため、通学路やJR駅等のパトロールを行う。

① 令和4年度実施状況（上半期） (R4/4/1～R4/9/30)	② 令和4年度実施状況（下半期） (R4/10/1～R5/3/31)
青色回転灯積載車及び徒歩による巡回実施回数： 登下校時(通学路)99回 非行防止(薄暮～夜間)73回 (青少年指導委員70人)	青色回転灯積載車及び徒歩による巡回実施回数： 登下校時(通学路)83回(見込) 非行防止(薄暮～夜間)62回(見込)

③ これまでの取組、成果、課題等	④ 成果目標	
<ul style="list-style-type: none"> 計画的な巡回で、被害防止、不審者対策を広報しながら登下校時の子どもたちへの積極的な声かけを実施 時季に応じた非行未然防止対策のための巡回コース設定 市民からの情報や、また巡回して得た情報による巡回箇所の追加（特に公園等での非行防止の声かけ） 巡回時、各駅前交番に立ち寄り最近の状況など情報交換 	令和4年度	令和5年度
	<ul style="list-style-type: none"> 犯罪抑止効果のある青色回転灯積載車の活用を図りながら、犯罪被害に合わないための効果的な巡回コースの設定や子どもへの安全指導に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 犯罪抑止効果のある青色回転灯積載車の活用を図りながら、犯罪被害に合わないための効果的な巡回設定や子どもへの広報・啓発に努める。

⑤ 予算・決算見込額			
令和3年度		令和4年度	
予算額（千円）	決算額（千円）	予算額（千円）	決算見込額（千円）
6,676	5,514	6,000	6,000
内訳 報酬・費用弁償	内訳 報酬・費用弁償	内訳 報酬・費用弁償 (見込み)	内訳 報酬・費用弁償 (見込み)

⑥ 総合評価 (成果、反省点)	⑦ 令和5年度取組方針 (取組方法・改善点等)				
<p>市民からの情報による巡回コースの変更・重点的な巡回・巡回箇所の追加、また青少年指導委員が巡回して得た情報を担当課・警察署・管理者へ報告するなどの対応に努めた。また、異なる巡回時間帯やコースでの子どもたちの様子が青少年指導委員同士で共有できるよう、巡回日誌の閲覧や青少年指導委員連絡掲示板を利用し情報共有を図った。また小中一貫教育推進課からの各校の「生活のきまり」を声かけ時の参考として活用した。</p>	<p>犯罪抑止効果のある青色回転灯搭載車の活用を図りながら、また広報内容を見直し、犯罪被害に合わないための効果的な巡回設定や積極的な青少年への呼びかけ、安全指導に努める。また、事件・事故がおきないよう危険箇所の再確認をするほか、各地域の公園等で非行の未然防止に向けた声かけをするよう努める。</p>				
<table border="0"> <tr> <td>A：成果目標以上の成果に達したもの</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td>B：成果目標どおり</td> <td>C：成果目標に達しなかったもの</td> </tr> </table>	A：成果目標以上の成果に達したもの	○	B：成果目標どおり	C：成果目標に達しなかったもの	
A：成果目標以上の成果に達したもの	○	B：成果目標どおり	C：成果目標に達しなかったもの		

Ⅲ 環境づくり

ハード、ソフトの両面から、犯罪が起こりにくいまちづくりのための環境整備を進め、安全確保を図る。

1 学校・通学路・駅等における安全確保

事業No.	担当課	事業名	事業内容
Ⅲ-1-②	子育て支援課 (青少年育成センター)	敷地内パトロール	青少年指導委員が市内の小学校、中学校及び高等学校の敷地内巡視を行う。

① 令和4年度実施状況（上半期） (R4/4/1~R4/9/30)	② 令和4年度実施状況（下半期） (R4/10/1~R5/3/31)
夕方・夜間、休日の街頭巡回指導時、学校周辺を巡視 実施回数：73回	夕方・夜間、休日の街頭巡回指導時、学校周辺を巡視 実施回数：94回(見込)

③ これまでの取組、成果、課題等	④ 成果目標	
	令和4年度	令和5年度
<ul style="list-style-type: none"> 市内の学校をほぼ網羅するコース設定をし、学校周辺を目につく方法で巡回を実施(青色回転灯搭載車を使用) 夜間の継続的な活動のほか、夕方や休日の巡回を実施 巡回時、各駅前交番に立ち寄り最近の状況などの情報交換を図った 	青色回転灯搭載車を使用し、目に見える「犯罪抑止活動」を継続して実施する。また、巡回時、各コース内の小・中・高等学校周辺の継続的な巡視を行う。	青色回転灯搭載車を使用し、目に見える「犯罪抑止活動」を継続して実施する。また、巡回時、各コース内の小・中・高等学校周辺の継続的な巡視を行う。

⑤ 予算・決算見込額			
令和3年度		令和4年度	
予算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	決算見込額(千円)
6,676	5,514	6,000	6,000
内訳 報酬・費用弁償	内訳 報酬・費用弁償	内訳 報酬・費用弁償 (見込み)	内訳 報酬・費用弁償 (見込み)

⑥ 総合評価 (成果、反省点)	⑦ 令和5年度取組方針 (取組方法・改善点等)					
巡回時、青色回転灯搭載車で各コース内の小・中・高等学校周辺を巡視、また夕方や休日も巡回を設定することにより、犯罪抑止効果が得られた。また、学校周辺を巡回設定時間内に複数回巡回するなど巡回の仕方を工夫した。全青少年指導委員が「三条市メール配信サービス」「新潟県警ひかるくんひかりちゃん安心メール」に登録し、身近な犯罪や不審者情報を巡回に活用した。	犯罪抑止効果を高めるため、巡回設定時間の範囲内で引き続き学校周辺を巡視し、さらに積極的に青少年への呼びかけ、継続的な活動を行う。					
<table border="1"> <tr> <td>A: 成果目標以上の成果に達したもの</td> <td>○</td> <td>B: 成果目標どおり</td> <td></td> <td>C: 成果目標に達しなかったもの</td> </tr> </table>	A: 成果目標以上の成果に達したもの	○	B: 成果目標どおり		C: 成果目標に達しなかったもの	
A: 成果目標以上の成果に達したもの	○	B: 成果目標どおり		C: 成果目標に達しなかったもの		

Ⅲ 環境づくり

ハード、ソフトの両面から、犯罪が起これにくいまちづくりのための環境整備を進め、安全確保を図る。

1 学校・通学路・駅等における安全確保

事業No.	担当課	事業名	事業内容
Ⅲ-1-③	環境課	市職員による 青色回転灯パトロール	市内で青色回転灯実施者講習会を開催し、受講職員によるパトロールを実施する。

① 令和4年度実施状況（上半期） （R4/4/1～R4/9/30）	② 令和4年度実施状況（下半期） （R4/10/1～R5/3/31）
職員へパトロール実施の協力依頼を行った。 【パトロール実施回数 1回】	パトロールの実施体制は維持している。 【パトロール実施回数 1回（予定）】

③ これまでの取組、成果、課題等	④ 成果目標	
	令和4年度	令和5年度
<ul style="list-style-type: none"> 毎年10月に行われる「新潟県安全で安心なまちづくり旬間」を強化期間とし、青色回転パトロールを行っていた。 職員が青色回転灯パトロールを実施しやすいよう、呼びかけを行っていく。 	青色回転灯パトロールの実施可能な体制を維持しながら、職員がパトロールに取り組みやすい仕組みを整える。	青色回転灯パトロールの実施可能な体制を維持しながら、強化期間の設定等により職員に積極的にパトロールを実施してもらう。

⑤ 予算・決算見込額			
令和3年度		令和4年度	
予算額（千円）	決算額（千円）	予算額（千円）	決算見込額（千円）
0	0	0	0
内訳	内訳	内訳	内訳

⑥ 総合評価 （成果、反省点）		⑦ 令和5年度取組方針 （取組方法・改善点等）	
パトロール体制を維持できた。		業務により外出する機会を活用して職員に積極的にパトロールを実施してもらえるよう呼びかけていく。	
A：成果目標以上の成果に達したもの	○	B：成果目標どおり	C：成果目標に達しなかったもの

Ⅲ 環境づくり

ハード、ソフトの両面から、犯罪が起りにくいまちづくりのための環境整備を進め、安全確保を図る。

1 学校・通学路・駅等における安全確保

事業No.	担当課	事業名	事業内容
Ⅲ-1-④	学校教育課 (環境課) (建設課)	三条市通学路安全推進会議	学校、自治会、PTA、警察、市等で標記会議を開催し、学校通学路等の危険箇所の改善を関係機関へ要望する。

① 令和4年度実施状況（上半期） (R4/4/1~R4/9/30)	② 令和4年度実施状況（下半期） (R4/10/1~R5/3/31)
7月12日に通学路安全推進会議を実施し、各学校及び自治会から提出された36箇所の改善要望について協議した。また、昨年度の改善要望を受けた改善工事の実施前に関係機関が集まり工事内容の確認を行った。(学校教育課)	10月5日に関係機関が集まり、市道の合同点検を実施した。また、昨年度の改善要望を受けた改善工事の実施前に関係機関が集まり工事内容の確認を行った。(学校教育課)

③ これまでの取組、成果、課題等	④ 成果目標	
	令和4年度	令和5年度
各学校がPTAや自治会と連携して通学路の危険箇所を洗い出し、5月に改善要望書を提出している。それを基に、関係機関と通学路安全推進会議を開催し、具体的な取組について協議している。(学校教育課)	・通学路危険箇所の改善要望について、具体的な協議を進める。(学校教育課) ・改善要望箇所の検討と改善を進める。(環境課)	・通学路危険箇所の改善要望について、具体的な協議を進める。(学校教育課) ・改善要望箇所の検討と改善を進める。(環境課)

⑤ 予算・決算見込額			
令和3年度		令和4年度	
予算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	決算見込額(千円)
0	0	0	0
内訳	内訳	内訳	内訳

⑥ 総合評価 (成果、反省点)		⑦ 令和5年度取組方針 (取組方法・改善点等)	
通学路安全推進会議をとおして、学校の改善要望を関係機関と協議し、対策を進めることができた。対策を要しない箇所についても、日頃からの安全指導を確実に行うよう各学校に連絡した。(学校教育課)		令和4年度、各学校で通学路危険箇所対策が進み、グリーンベルトの設置等の形として見えたことで意識が高まったことから、令和5年度当初に改めて対策危険箇所の総点検を各学校に依頼し、意識の高まりを継続していく。	
A: 成果目標以上の成果に達したもの	○	B: 成果目標どおり	C: 成果目標に達しなかったもの

Ⅲ 環境づくり

ハード、ソフトの両面から、犯罪が起こりにくいまちづくりのための環境整備を進め、安全確保を図る。

2 道路・公園等における安全確保

事業No.	担当課	事業名	事業内容
Ⅲ-2-①	建設課	防犯灯、街灯の整備	市道における一定の照度を確保するため、防犯灯、街灯の整備を行う。

① 令和4年度実施状況（上半期） （R4/4/1～R4/9/30）	② 令和4年度実施状況（下半期） （R4/10/1～R5/3/31）
なし	48灯の防犯灯、街灯の整備予定有り

③ これまでの取組、成果、課題等 地域からの要望に応じて、防犯灯、街灯を設置している。（参考：令和3年度85灯設置）	④ 成果目標	
	令和4年度	令和5年度
	地域からの要望に応えられるよう、早期設置を目指す。	地域からの要望に応えられるよう、早期設置を目指す。
	50灯	50灯

⑤ 予算・決算見込額			
令和3年度		令和4年度	
予算額（千円）	決算額（千円）	予算額（千円）	決算見込額（千円）
3,500	3,488	4,000	4,000
内訳 工事請負費 3,500	内訳 工事請負費 3,488	内訳 工事請負費 4,000	内訳 工事請負費 4,000

⑥ 総合評価 （成果、反省点）		⑦ 令和5年度取組方針 （取組方法・改善点等）	
おおむね要望に応えられた。		地域の要望に応えることを目標とする。	
A：成果目標以上の成果に達したもの	○	B：成果目標どおり	C：成果目標に達しなかったもの

Ⅲ 環境づくり

ハード、ソフトの両面から、犯罪が起これにくいまちづくりのための環境整備を進め、安全確保を図る。

2 道路・公園等における安全確保

事業No.	担当課	事業名	事業内容
Ⅲ-2-②	建設課	公園の整備	市で管理する公園について、街灯の整備や雑草の除去等、死角を作らないなど、防犯上必要な管理を行う。

① 令和4年度実施状況（上半期） （R4/4/1～R4/9/30）	② 令和4年度実施状況（下半期） （R4/10/1～R5/3/31）
市で管理する三条市総合運動公園ほか25箇所の樹木等の伐採、剪定及び除草を実施した。	公園の樹木等伐採、剪定、除草について計画通り実施できた。

③ これまでの取組、成果、課題等	④ 成果目標	
	令和4年度	令和5年度
<ul style="list-style-type: none"> ・樹木等については、業務委託をして計画的に管理をしている。 ・照明については、故障しているものがあり、修繕等の改善処置を順次実施している。 	適時、適切で計画的な管理を徹底する。	適時、適切で計画的な管理を徹底する。

⑤ 予算・決算見込額			
令和3年度		令和4年度	
予算額（千円）	決算額（千円）	予算額（千円）	決算見込額（千円）
82,883	72,018	70,826	70,826
内訳 施設修繕料 15,700 樹木等管理委託料 12,790 指定管理料 13,791 その他水道光熱費、施設管理費等	内訳 施設修繕料 7,983 樹木等管理委託料 15,509 指定管理料 13,791 その他水道光熱費、施設管理費等	内訳 施設修繕料 9,200 樹木等管理委託料 14,236 指定管理料 14,343 その他水道光熱費、施設管理費等	内訳 施設修繕料 9,200 樹木等管理委託料 14,236 指定管理料 14,343 その他水道光熱費、施設管理費等

⑥ 総合評価 （成果、反省点）	⑦ 令和5年度取組方針 （取組方法・改善点等）		
樹木維持管理については計画通り実施できたが、施設修繕については、雪害により樹木伐採等による支出が多かったことで、計画通りに実施できなかった。今後も継続して実施していきたい。	樹木維持管理についてはこれまで通り計画的に実施していきたい。 照明や防犯に関連する施設の修繕や整備についても、状況を把握しながら継続して実施していきたい。		
A：成果目標以上の成果に達したもの	○	B：成果目標どおり	C：成果目標に達しなかったもの

Ⅲ 環境づくり

ハード、ソフトの両面から、犯罪が起これにくいまちづくりのための環境整備を進め、安全確保を図る。

2 道路・公園等における安全確保

事業No.	担当課	事業名	事業内容
Ⅲ-2-③	環境課	自動車駐車場及び自転車駐車場の管理	市で管理する自動車駐車場及び自転車駐車場において、定期的に照明設備の点検や放置自転車等の確認等を行う。

① 令和4年度実施状況（上半期） （R4/4/1～R4/9/30）	② 令和4年度実施状況（下半期） （R4/10/1～R5/3/31）
<ul style="list-style-type: none"> 市管理の駐輪場（市内5駅）については、シルバー人材センター及び東光寺駅協力会に依頼し、駐輪場の整理を行っている。 前年度に調査を行い、放置自転車と見られるものについては三条警察署へ所有者照会を行った。 三条警察署からの放置自転車所有者照会の回答を受け、所有者へ引取り依頼の文書を送達した。 	<p>引取りのない自転車157台の撤去を行い、駐車場の環境整備に努めた。</p>

③ これまでの取組、成果、課題等	④ 成果目標	
	令和4年度	令和5年度
<ul style="list-style-type: none"> シルバー人材センター及び東光寺駅協力会に業務委託をし、定期的に駐輪場の整理を行っている。 年に1回程度、放置自転車の調査、撤去を行っている。 	<p>定期的な駐輪場整理、放置自転車調査等を通して駐輪場の管理を適切に行い、自転車盗難等の犯罪被害を未然に防ぐ。</p>	<p>定期的な駐輪場整理、放置自転車調査等を通して駐輪場の管理を適切に行い、自転車盗難等の犯罪被害を未然に防ぐ。</p>

⑤ 予算・決算見込額			
令和3年度		令和4年度	
予算額（千円）	決算額（千円）	予算額（千円）	決算見込額（千円）
7,184	6,559	7,182	7,182
<p>内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設管理業務委託料 1,304 東三条駅前駐車場使用料収納事務委託料 1,452 施設修繕料 504 等 	<p>内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設管理業務委託 1,229 東三条駅前駐車場使用料収納事務委託料 1,368 施設修繕料 504 等 	<p>内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設管理業務委託料 1,280 東三条駅前駐車場使用料収納事務委託料 1,452 施設修繕料 1,217 等 	<p>内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設管理業務委託料 1,280 東三条駅前駐車場使用料収納事務委託料 1,452 施設修繕料 1,217 等

⑥ 総合評価 （成果、反省点）		⑦ 令和5年度取組方針 （取組方法・改善点等）	
<p>定期的な駐輪場整理と併せて、放置自転車の撤去を行うことができた。 しかし、放置自転車の発生自体は減っていない。</p>		<p>今後も定期的な駐輪場整理と放置自転車の調査、撤去等を行い、駐輪場を適切に管理するとともに、放置自転車の発生自体を減らす取組に努める。</p>	
A：成果目標以上の成果に達したもの	○	B：成果目標どおり	C：成果目標に達しなかったもの

Ⅲ 環境づくり

ハード、ソフトの両面から、犯罪が起こりにくいまちづくりのための環境整備を進め、安全確保を図る。

2 道路・公園等における安全確保

事業No.	担当課	事業名	事業内容
Ⅲ-2-④	環境課	空家等の適正管理	条例に基づき、所有者等に対し適正な措置を講ずるよう、助言、指導を行う。

① 令和4年度実施状況（上半期） （R4/4/1～R4/9/30）	② 令和4年度実施状況（下半期） （R4/10/1～R5/3/31）
文書、電話、面談等による助言・指導 助言・指導件数：48件	文書、電話、面談等による助言・指導 助言・指導件数：8件（2/13までに把握した物件） 12/22に降雪期前の空家適正管理を促す依頼文を送付（68件）

③ これまでの取組、成果、課題等	④ 成果目標	
	令和4年度	令和5年度
【これまでの取組】 ・所有者等に対する適正管理の助言・指導 ・空家実態調査 ・特定空家等解体費補助制度創設（R4） 【成果】 ・把握済み特定空家272件中188件改善 ・特定空家等解体費補助申請27件、交付10件 【課題】 ・未改善84件への継続指導 ・内、相続放棄案件9件への対応（時間を要し、改善が見込めないケースが多い）	未改善の特定空家（94件）所有者等に対して、改善が見られるまで継続的に助言・指導を行う。	未改善の特定空家（84件）所有者等に対して、改善が見られるまで継続的に助言・指導を行う。 特定空家等解体費補助金10件交付
	深刻な状況にある特定空家：4件（1.31時点）	

⑤ 予算・決算見込額		令和3年度		令和4年度	
	予算額（千円）	決算額（千円）		予算額（千円）	決算見込額（千円）
	7,008	7004		55,395	55,251
内訳	・空家等審議会委員報酬 23,000円 ・費用弁償 6,000円 ・消耗品費 27,000円 ・食糧費 2,000円 ・工事請負費 6,950,000円	内訳 ・空家等審議会委員報酬 20,000円 ・費用弁償 5,360円 ・消耗品費 26,548円 ・食糧費 1,944円 ・工事請負費 6,949,500円	内訳	・事業協力謝礼金 827,000円 ・空家等対策人材派遣費用負担金 5,927,000円 ・特定空家等解体費補助金 47,160,000円 その他印刷製本費、委託料等	内訳 ・事業協力謝礼金 827,000円 ・空家等対策人材派遣費用負担金 5,927,000円 ・特定空家等解体費補助金 47,160,000円 その他印刷製本費、委託料等

⑥ 総合評価 （成果、反省点）	⑦ 令和5年度取組方針 （取組方法・改善点等）						
特定空家所有者等に対する助言・指導のほか、解体費補助金交付を行った結果、一定の成果（改善）が見られたものの、依然として未改善の特定空家が多く存在する。	未改善の特定空家所有者等に対して、今後も改善が見られるまで粘り強く助言・指導を行う。 また、特定空家の解体を促進するため、引き続き解体費補助を行うとともに、さらに加速化させるために空家解体後の固定資産税の減免を実施する。						
<table border="1"> <tr> <td>A：成果目標以上の成果に達したもの</td> <td>○</td> <td>B：成果目標どおり</td> <td>C：成果目標に達しなかったもの</td> </tr> </table>	A：成果目標以上の成果に達したもの	○	B：成果目標どおり	C：成果目標に達しなかったもの			
A：成果目標以上の成果に達したもの	○	B：成果目標どおり	C：成果目標に達しなかったもの				

Ⅲ 環境づくり

ハード、ソフトの両面から、犯罪が起こりにくいまちづくりのための環境整備を進め、安全確保を図る。

3 住宅の防犯性向上と相談体制の整備

事業No.	担当課	事業名	事業内容
Ⅲ-3-①	環境課	住宅等の防犯対策チラシの設置	住宅等の防犯対策チラシを窓口に設置する。

① 令和4年度実施状況（上半期） （R4/4/1～R4/9/30）	② 令和4年度実施状況（下半期） （R4/10/1～R5/3/31）
防犯対策のチラシ等を窓口に設置し、来庁者への情報提供に努めた。	防犯対策のチラシ等を窓口に設置し、来庁者への情報提供に努めた。

③ これまでの取組、成果、課題等	④ 成果目標	
	令和4年度	令和5年度
防犯対策チラシの窓口設置を継続的に行うことができた。	様々な市民が訪れる市役所という場所を活用し、効果的な情報提供に努める。	様々な市民が訪れる機会を捉えて、効果的な情報提供に努める。

⑤ 予算・決算見込額			
令和3年度		令和4年度	
予算額（千円）	決算額（千円）	予算額（千円）	決算見込額（千円）
0	0	0	0
内訳	内訳	内訳	内訳

⑥ 総合評価 （成果、反省点）		⑦ 令和5年度取組方針 （取組方法・改善点等）	
防犯対策のチラシについて、市役所三条庁舎に併せて、栄・下田各サービスセンター等への設置も検討していく。		必要に応じ設置箇所の増加を検討するなど、多くの市民の方の目につくように努める。	
A：成果目標以上の成果に達したもの	○	B：成果目標どおり	C：成果目標に達しなかったもの

Ⅲ 環境づくり

ハード、ソフトの両面から、犯罪が起これにくいまちづくりのための環境整備を進め、安全確保を図る。

3 住宅の防犯性向上と相談体制の整備

事業No.	担当課	事業名	事業内容
Ⅲ-3-②	市民窓口課	市民なんでも相談	日常の心配ごとや悩みごとに関する相談を始め、悪質商法や特殊詐欺などの相談、情報提供を行う。

① 令和4年度実施状況（上半期） （R4/4/1～R4/9/30）	② 令和4年度実施状況（下半期） （R4/10/1～R5/3/31）
<p>【市民相談件数】648件 家庭、高齢福祉、住環境、財産など</p> <p>【消費生活相談件数】207件 ワンクリック請求、架空請求、商品役務契約時トラブル、多重債務など</p>	<p>（見込み）</p> <p>【市民相談件数】700件 家族、高齢福祉、財産、離婚、住環境など</p> <p>【消費生活相談件数】190件 ワンクリック請求、架空請求、商品役務契約時トラブル、多重債務など</p>

③ これまでの取組、成果、課題等	④ 成果目標	
	令和4年度	令和5年度
<p>相談の対応とあわせて、広報さんじょうや消費者トラブル情報のメール配信、Twitter、LINE、燕三条FM及び消費生活出前講座等で、相談窓口について周知に努めている。また、R3.10からLINEにおいても相談を受付けている。</p>	<p>相談者が、安心して相談できるように確かな情報を収集し、トラブルが解決するよう努める。</p>	<p>相談者が、安心して相談できるように庁内や関係機関と連携を図り、トラブルが解決するよう努める。</p>

⑤ 予算・決算見込額			
令和3年度		令和4年度	
予算額（千円）	決算額（千円）	予算額（千円）	決算見込額（千円）
1,010	916	982	966
内訳 市民相談事業費911 消費者保護事業費99	内訳 市民相談事業費833 消費者保護事業費83	内訳 市民相談事業費883 消費者保護事業費99	内訳 市民相談事業費882 消費者保護事業費84

⑥ 総合評価 （成果、反省点）	⑦ 令和5年度取組方針 （取組方法・改善点等）
<p>消費生活講座や出前講座などで市民なんでも相談室のPRカードを配布したことで、新規の相談者が増えた。また、LINEからの相談件数も増えている。</p>	<p>引き続き、関係機関と連携を図りながら、市民の様々な心配ごとや悩みごとの相談を受け付ける。また、悪質商法や特殊詐欺の被害防止の啓発に取り組むとともに、積極的に相談窓口の周知も行う。LINEによる相談受付についても周知していく。</p>
○	<p>A：成果目標以上の成果に達したもの</p> <p>B：成果目標どおり</p> <p>C：成果目標に達しなかったもの</p>

Ⅲ 環境づくり

ハード、ソフトの両面から、犯罪が起こりにくいまちづくりのための環境整備を進め、安全確保を図る。

3 住宅の防犯性向上と相談体制の整備

事業No.	担当課	事業名	事業内容
Ⅲ-3-③	市民窓口課	相談体制の整備	警察署に設置されている相談室との連携を図り、相談内容別の専門相談機関を紹介する。

① 令和4年度実施状況（上半期） （R4/4/1～R4/9/30）	② 令和4年度実施状況（下半期） （R4/10/1～R5/3/31）
【市民相談】 警察への相談を勧めた：7件 【消費生活相談】 警察への相談を勧めた：8件	（見込み） 【市民相談】 警察への相談を勧めた：4件 【消費生活相談】 警察への相談を勧めた：18件

③ これまでの取組、成果、課題等	④ 成果目標	
	令和4年度	令和5年度
詐欺、暴力、迷惑行為、トラブルなど警察署が窓口になっているものについて、警察署へ相談するよう促している。また、警察から市への相談を勧められるケースも見られる。	関係部署との連携を押し進め、的確な相談が行えるよう努める。	関係部署との連携を押し進め、的確な相談が行えるよう努める。

⑤ 予算・決算見込額			
令和3年度		令和4年度	
予算額（千円）	決算額（千円）	予算額（千円）	決算見込額（千円）
1,010	916	982	966
内訳 市民相談事業費911 消費者保護事業費99	内訳 市民相談事業費833 消費者保護事業費83	内訳 市民相談事業費883 消費者保護事業費99	内訳 市民相談事業費882 消費者保護事業費84

⑥ 総合評価 （成果、反省点）		⑦ 令和5年度取組方針 （取組方法・改善点等）	
三条警察署から市へ相談を勧められるケースが増えたが、対応できない内容もあったので、相談室の役割を再認識してもらう必要がある。		引き続き三条警察署への相談が必要と思われるケースは積極的に案内する。また、市民なんでも相談室で行っている消費生活相談の斡旋状況や成果について、警察（交番、駐在所）へ情報提供するとともに、消費生活相談については、市民なんでも相談室への相談を勧めってもらうよう依頼したい。	
A：成果目標以上の成果に達したもの	○	B：成果目標どおり	C：成果目標に達しなかったもの